

## 第 21 回 SEAFO 年次会合結果概要

(日本トロール底魚協会関連議題)

2024 年 11 月 24 日から 28 日にナミビアのウォルビスベイで開催された SEAFO (南東大西洋漁業機関) 年次会合に、当協会も出席しました。

### 1. 2025 年-26 年の漁獲量

科学委員会の勧告に基づき、以下のとおり、対象魚種ごとの漁獲量が合意された。

マゼランアイナメ：D 海域で 274 トン (2024 年比 13 トン増)

オレンジラフィー：混獲枠として B1 海域に 4 トン、残り海域に 50 トン (繰越)

オオエンコウガニ：B1 海域に 162 トン、残りの海域に 200 トン (繰越)

クサカリツボダイ：全海域で 135 トン (繰越)

キンメダイ：200 トン (ただし B1 海域で 132 トンを上限) (繰越)

### 2. マゼランアイナメへのタグ付け

科学委員会の勧告に基づき、1 トン当たり 1 尾のタグ付けをすることが合意。なお、EU は、1 トン当たり 3 尾までタグ付けを増やすことを主張し、可能であればタグ数を増やすことが別途、奨励。

### 3. 漁獲物の非加盟国の港への水揚げ

日本の提案により、非締約国の港への水揚げにかかる手続きについて合意し、漁獲物の水揚げが締約国に限定されないことが監視遵守取締システム内に明示 (第 24 条 8 項)。

### 4. 海鳥混獲回避措置

海鳥混獲回避措置について、ACAP ガイドラインに沿って規定された関係 RFMOs の措置に準拠したものとすべく、次回 SC で検討することが合意。

### 5. 次回会合

次回会合は、2025 年 11 月 24 日から 27 日にオンライン形式で開催。

(以上)